



21.9.4 核心

「すべてを持っている者」 ピリ 3:8-21

序	本	結
答え× 病氣 靈的病氣 集中(脳) → たましい	1. 恐れ× - すべてを 見た者	1. パウロ 2. 財閥 (ロマ16章) 3. 子どもたち (ローマ 征服)
目 1. 福音の手紙-聖句 記録-庭園 深い祈り 確認 2. 感謝-すべてのこと、すべての人-常時祈り 目 3. 夜-いやし、力、答え 集中祈り (没頭祈り)	リ ズ ム 1) 使 1:14 2) 使 2:9-11 3) 使 2:41-42 4) 使 2:43-45 5) 7:1-60 8:4-8	
	2. 新しい 始まり - 持った者	
	3. すべてに 勝った者	
	1) 7:14-60 2) 11:19 3) ピリ 3:8-21	

ピリ 3:8-21

08 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損
 と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。それは、
 私には、キリストを得、また、

09 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわ
 ち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ
 状態になり、

11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。

12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求して
 いるのです。そして、それを得るようとキリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

13 兄弟たちよ。私は、自分はずでに捕らえたなどと考えるはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわ
 ち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、

14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標をみざして一心に走っているの
 です。

15 ですから、成人である者はみな、このような考え方をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違った
 考え方をしているなら、神はそのこともあなたがたに明らかにしてください。

16 それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。

17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる
 人たちに、目を留めてください。

18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリスト
 の十字架の敵として歩んでいるからです。

19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地

上のことだけです。

20 けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

要約

神様は私たちにすべてのことをくださった。何をくださったのか。ピリ 3:8-21 パウロが受けたことを告白した。

□序論_ [答えがない人、病気、霊的病気]で大変な人々[集中を始めなさい]

1. 朝[目]を開いたら福音の手紙を一度読んでみなさい。メッセージを聞いてみなさい。一聖句を選んで開いて[記録]しなさい。庭園(外)に出て行って[深い祈り]をはじめなさい。記録した聖句を読みながら、呼吸をゆっくり深く、心安らかにするのだ。「家に帰ってもどのようにすれば良い」という[リズム]を見つけて行きなさい。

2. すべての[感謝]を記録してみなさい。すべてのこと、すべての人について[いつでも祈り]ながら考えてみなさい。(確認)

神様が私に準備してくださったこと、私がとても誤解が多かったことを知るようになる。感謝が出て来る。

3. [目]閉じるとき、はじめなさい。夜の時間には本格的ないやしをすることができる。とても大きい力と答えを受けることができる。- [集中祈り(没頭祈り)]

△共通点が[脳]を完全にいやすことだ。その後、たましいが力を受けるようになる。自然に三つがいやされることによって、いやされなくても[リズム]を見つけ出すようになる。このような経験があるべきだ。

□本論_このようなリズムを持って行くから

1. 恐れが消える。-すべてを見た者だ。

1) 使 1:14 すでにそのミッションを持って降りてきたのだ。

2) 使 2:9-11 この人々を準備された。

3) 使 2:41-42 この人が動くと3千弟子が起こった。

4) 使 2:43-45 この人がきて献金して行くのだ。

5) 使 7:1-60、8:4-8 ステパノ、ピリピのように按手を受けた人々が動き始めた。

2. 新しいはじまり-すべてを持った者だ。

1) 使 1:1-8 イエス様が約束された。

2) 使 2:1-13 この炎のような力が臨み始めたのだ。

3) 使 13:1-4 マルコの屋上の間に起こった同じ働きが今でも起こっている。- key

3. 殉教したように見えるが、すべてに勝った者だ。

1) 使 7:54-60 ステパノの死→ステパノの働きは続き始める。

2) 使 11:19 アンテオケへ

3) ローマを征服した後にピリ 3:8-21 まで

□結論

1. パウローないように見えるのか。すべて受けたのだ。
2. ロマ 16 章-神様が財閥を立て起こし始められた。
3. ある日、子どもたちが起こされたのだ。これが Remnant 運動だ。ーローマ征服
△全く負担を持たずに集中の時間に入ってきなさい。朝(深い祈り)、夜(集中祈り)
二つだけするのに 24 が生かされる。
△神様はみなさんを病気と霊的な病気と多くの生活の病気から解放させる主役として呼ばれた。

<全文書き起こし訳>

9 月です。新しく始まりです。神様は、私たちにすべてを与えてくださいました。何をくださいましたか。パウロが受けたことを告白しました。さあ、今日、メッセージを聞く方々の中にはこのような方たちもいるでしょう。

□序論

答え× /病気/霊的病気

「私には答えがない」こういう方々は、必ず今日のメッセージを握って一週間してみてください。「私は病気の中にいて、本当に大変だ。世界福音化もすべきだし、すべてしなければならないのに、私は病気の中で、今、苦しんでいる」また、ある人は「私はうつ病にもなって、パニック障害で、精神病にもなって、あまりにも苦しい」霊的病気です。順番に書きましたが、三つ目のことが一番多いようです。

答えがないということは、自分の錯覚であるかもしれませんが、病気は錯覚ではありません。そして、霊的な病気はまた、自分の思い通りにはなりません。自分の思うとおりになるなら、病気でもありません。思うとおりにならなくて。思うとおりになるように見えるのに、病気、これは自分が感じるものが苦痛でしょう。今週から一度、始めてるように願います。この三種類の人々は、必ず今週ということが問題ではありませんが、始めてください。

集中(脳) →たましい

みなさんがこれを持って何を始めなければならないかという、集中を始めてください。状況が良くない方々は時間を定めておいてすれば良いです。「私は時間がちょっと多い」このように考える方は、教会に行って、このように集中をちょっとすれば良いのです。「私は力もなくて、時間もなくて大変だ」このような人々は、少し人の助けを受けるのではないのですが、祈禱院や、あるいは祈りができる特別な場所で、みなさんが始めることができます。必ずしてみてください。まず三週間だけ、ひとまず始めてみてください。三週間だけ始めるのに、みなさんがどのように始めればよいのかというと、私が少し経験したことを話します。

1. 福音の手紙-聖句[記録]-庭園[深い祈り]

正常なみなさんの教会、教会信徒ならば、教材をみな持っているでしょう。すべて持っているでしょうが、それでも一番簡単に見るのが福音の手紙でしょう。およそ 3 日、これに集中するから福音の手紙を置いてずっと一度読んでみてください。読んでみて、そこの聖句を選んでください。聖句を選んで、選んだ聖句を聖書箇所、私の話ではなく、聖書箇所を記録してください。できますね。

できれば静かな時間なら良いです。ひとりで。福音の手紙をずっと聞いて、メッセージを聞いたでしょう。その中でも聖書箇所が書かれています。それを選んで、開いて記録をするということです。すると、ある程度、聖書のように分厚くなくても、ノートが結構厚くなるでしょう。それを、記念だと考えて、みなさんが、きれいに記録をこのようにしてみてください。

それを持って、これからは朝に目をぱっと開いたら、できれば、ちょっとこのように庭園など、外に出て行ってください。そうでなければ、川の水が流れたり、そのようなところがありますね。これをしながら、空気に当たるのをかねて、とてもゆっくりする深い祈りを始めてください。このみことばを持って。

さあ、とても具体的です。手紙を、メッセージを聞いて、聖句を記録して。これを持って深い祈りをしながらメッセージの紙を持って。聖句を記録するときに、できれば、みことばをこのように書くということです。そして、それを読むように。そして、深い祈りは、何をするのでしょうか。読みながら呼吸をゆっくり深くしてください。安らかに。科学者が証明したのを一度見てください。みなさんの脳には、すばらしい波長と働きが起き始めます。私が今、これから指示しておいたのですが、教会に今、いやしセンターをする理由は「科学的、医学的、福音的、それから、実際の私が信仰生活どのようにするか」これをセッティングしようとしています。

脳

みなさんが安らかな時間に、すでに座っているということと、みことば、祈りをするということ自体が、すでにこの脳には、とてもすばらしいことが広がります。

リズム

これをおよそ3日してみなさいということです。3日した後には、何が出てくるのかというと、「あっ、私に家にも帰っても、どのようにすれば良い」というリズムを見つけるようになります。

山祈りを一度して、どこかにそのように祈って、家に帰りなさい、そういう話ではありません。「リズムをしっかりと見つけて行きなさい」ということです。できても、できなくても。できるのは、神様の御手にあるので、リズムを見つけて行きなさい。これをのがしてはいけません。

2. 感謝-すべてのこと、すべての人- [常時祈り]

二番目です。すべての感謝を一度記録してみてください。今まであったすべてのこと。私が滅びましたか。すべての人。この人、私の敵ですか。おもにみなさんの近くにいる人々でしょう。親、兄弟。このような人々が私の敵ではないでしょうか。ところが、私が一番嫌いだと考えています。

さあ、これを見て、みなさんはそのまま安らかにいつでも祈りながら考えてみてください。

みなさん、この人に対して、これまで答えが来ないことに対しては恥ずかしい気がするでしょう。神様が私を準備させられたことだから。人も同じことです。私のせいでかえって苦しめられたので、私がとても誤解が多かったということを知るようになるでしょう。そこで出てくるのが感謝です。必ずしてみてください、今週に。

3. 夜-いやし、力、答え- [集中祈り(没頭祈り)]

それから、もう庭園を行っても祈禱院に行っても関係ありません。夜の時間です。この夜の時間には本格的ないやしができます。この夜の時間にはとても大きい力を受けることができます。この夜の時間には、ものすごい答えを受けることができます。

これをとても集中する祈りと言います。もう少し表現してみます。とてもみなさんが重要です、没頭祈り。集中祈りで正しいのですが、本当に没頭する祈り。この共通点が、すべてみな何でしょうか。みなさんの脳を完全にいやしてしまうことです。その後どうなるでしょうか。私のたましいが力を受けるようになります。

そうすれば、自然にこれがいやされ始めます。いやされなくても、重要なのがリズムをしっかりと整えるようになります。「ああ、このように行けば良いんだな」このような経験がなければなりません。マルコの屋上の間に降りてきたとき、オリーブ山で答えをすべてみな受けて来たでしょう。しかし、リズムを見つけてきたのです。

□本論_価値

本論です。どんなリズムでしょうか。

1. 恐れ X-すべてのことを見た者たち

迫害と患難と殉教を恐れてはなりません。恐れるなという言葉です。このようなリズムをしっかりと持つてくるから、恐れが消えてしまいます。事実、すべてを見た者たちです。みなさんは、心配せずにこの答えの中に少

しいれば、すべてのことが全部見えます。目で見えるのではなく、心で見えます。大丈夫だということです。どのようにすべてのことが全部見えたのでしょうか。みなさん、これがとても重要です。これを(序論)始めてくださいということです。

年齢が 60 になった人々は、この部分(序論)をしないなら、みなさんに認知症の症状があらわれます。そして、正常な人々、時代を動かした人々はみな、この時間(序論)がありました。それゆえ、みなさんがこの時間を(序論)今から持つてください。みなさんは神様の人で、最高の人なので。簡単にこの三つのことを、これからは子どもたちにも家族にも説明しなければなりません。「あなたが一度やってみなさい」賢い子どもたちは、さらに上手にできます。何も恐れてはなりません。

1) 使 1:14

すでにそのミッションを持って降りてきた人々です。

2) 使 2:9-11

さあ、心配がなんでしょうか。驚くような人々が準備されていました。これが使徒 2 章 9 節です。このように、聖霊の導き一つを受けてしまえば簡単です。

3) 使 2:41-42

完全に、この人が動くから 3 千弟子が起きてしまいました。

4) 使 2:43-45

ところで、教会は貧しいでしょう。この人がきて献金をして行くのです。

5) 7:1-60、8:4-8

その程度ではありません。もう、いよいよ按手を受けた方の人々が動き始めるのです。ステパノのような人。ピリピのような人が動き始めました。これです。

みなさんが今から、みなさんが力を受けてこそ、他の人に力を与えることができます。そうでしょう。傷ついている方々、親を恨むのではなく、いくらしても仕方ありません。みなさんが力を受けてこそ、他の人も生かすことができ、家族も生かすことができます。みなさんが力を受けてこそ、子どもを生かすことができるのですが、みなさんが無力ならば、子どもを生かすことはできません。

この(序論)中に入ってください。完全に神様の恵みと力といやしの中に入ってください。これは時間たくさんかかりません。読書する時間もあるのですから。安らかな時間です。私の最も安らかな時間を選択してください。

目(序論 1)

そのまま目を開けば始めてください。どれくらいよいでしょうか。

目(序論 3)

この部分(序論 3)を見てください。目をとじるときに始めてください。どうせ寝なければならぬでしょう。寝るときに、このように、私の場合には、深い祈りの中に入るから、目が冴えるときが多いです。そうだとでもしてください。

確認

このような祝福のリズムに乗るようになれば、その中で、すべての生活は全部なんでしょうか。確認です。それゆえ、感謝が出てくるのです。「ああ、人々はみなあのように生きるんだな。こうして死んでいくのだな」

2. 新しいはじまりーすべてのことを持った者

みなさんは、今日からこの時間を持つ、力を受ける理由です。なぜでしょうか。新しい始まりですから。今日、初代教会の新しい始まりということは、すべてのことを持った者です。さあ、さっきは見た者です。もう持つことになるのです。聖霊を体験しながらです。

1) 1:1-8

イエス様が約束されたのではないですか。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受

けます。地の果てにまで、わたしの証人となります。」

2) 2:1-13

この炎のような力が臨み始めたのです。

3) 13:1-4

この炎のような力が臨み始めるから、そのとき、その場にいなかった人にも、私たちと同じ人にも、同じ働きが、今、起こる、その話です。これが鍵 (key) です。マルコの屋上の間に現れた働きが今でも現れています。私たちは、すべてのことを見た者で、持った者です。この祝福(序論)の中で、実際に見つけ出してください。

3. すべてのことに勝った者

その程度ではありません。殉教したように見えますが、すべてのことに勝った者です。

1) 7:54-60

ステパノはメッセージ一つをして死にました。イエス様がおっしゃいました。「ステパノは死んだのではなく眠ったのだ」そう言いました。私たちの人間は死ねば終わると思っていますが、終わりません。このステパノの働きは続き始めるのです。

2) 11:19

どこにでしょうか。アンテオケに。

3) ピリ 3:8-21

どこにでしょうか。この祝福がああローマを征服した後に、ピリピ 3 章 8 節から 21 節まで。みなさんが、中に(序論)いれば、どれくらい感謝するのかというと、「成し遂げたのでもなく、私はしたこともないです」このようになります。ただキリストに捕えられた、それを捕らえに行くでしょう。神様は、みなさんの学業、産業を最高にしてくださるでしょう。なぜでしょうか。すべてのことがあるから。この中に(序論)あるから、すべてが全部見えてきて、持って、味わうことができます。

□結論

さあ、するとどんな結論が出てくるのでしょうか。はたして。

1. パウロ

みなさん、これが聖書で最高の働きを成し遂げた人は誰でしょうか。パウロです。ないように見えますか。すべて与えられたのです。

2. 財閥(ロマ 16 章)

この頃の私たちの言葉で、ローマ 16 章に出てくる、神様が本当に財閥を起こして、たて始めました。この人がローマ 16 章の人々です。必ず記憶すべきです。想像もできません。

3. 子どもたち(ローマ征服)

ある日、子どもたちが起こされるのです。これが Remnant 運動です。どんなことが広がったでしょうか。ローマを征服してしまいました。コンスタンティヌス皇帝のお母さんも、信仰深いクリスチャンだったのではないのでしょうか。また、その当時には、キリスト教が殺される時だったので、信仰深いクリスチャンでなければ表に現しません。久しぶりに来た息子に、いつも福音を話したのでしょうか。いや、この人がどのように皇帝となって、キリスト教を国教に宣言するのでしょうか。

みなさん、この中に(序論)入ってください。全く負担を持たずに…。私は負担を持たないように、私は負担を持つことを一番嫌います。私は幼いときからどんな性格だったかということ、とても幼いとき、良い食べ物、おいしいものあれば、私の母がそれをとって、私のスプーンに上から乗せます、食べなさいと。どれくらい愛でしょうか。良い思いで与えてくれるのです。これを食べなさいと、このように与えるのです。すると、私は可能ならば、それを食べません。なぜでしょうか。「なぜご飯を食べるのに干渉するのか」ということです。性格がそうなので

す。これほど、なにか型に閉じ込められることを嫌います。

ですから、目をパッと開いたら始めてください。今からしなさいということです。目をパッと開いたら、なにも考えずに、朝にだけ、出勤するときまで仕事をするときまで、みなさんは、福音の手紙のみことばを記録したことがありますか。これをぱっとこのように持って、見ながら準備してください。はやく終わったら座って準備して。簡単です。これだけしても、ものすごいです。

そして、どうせみなさんは時間決めずに終わって寝なければならないでしょう。そのとき、集中祈りに入るので。いやし、力、みことばをおいて答え。この2つだけをしただけなのに、これが(序論 2:感謝)生き返ります。24が。私の場合は、どのように生かされるかという、行ってみれば答えが来ていました。ある場合は、行ってみれば問題が来ています。かえって、これがまた、祈りになって。それがまた、答えがきます。問題になることはありません。

みなさんは、はやく人々をここから(序論:答えX、病氣、靈的病氣)解放させるべきです。病氣と靈的な病氣と多くの生活の病氣から解放させる主役として呼ばれました。ご存知でしょう。祈ります。

祈り
神様、私たちが多くの靈的な生活から解放して下さったことを感謝します。病氣の中でいやされますように。暗やみの中に閉じ込められた者を捜し出しますように。完全なこの力を毎日、いつも味わいますように。今も答えてくださることを信じます。今も主のしもべの教会に働かれることを信じます。今も産業と次世代に働かれることを信じます。目に見えない聖靈と御使いを総動員して下さり、神様の栄光が現れますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

直筆

